

舟 発 第 663 号

平成 20 年 10 月 24 日

国土交通省道路局長 殿

舟橋村長 金森 勝雄



今後の道路行政についての意見・提案の提出について（回答）

標記の件について、平成 20 年 9 月 19 日付け国道企第 37 号で依頼がありましたので、別紙のとおり回答します。

本村では、村道の整備は新設から維持管理へとシフトしており住空間や交通安全への配慮を主眼とした道路整備を進めていく必要があると認識している。とりわけ、交通安全に対しては、本村での児童数の急増等を背景に歩道や自転車道の整備や通学路の安全確保等の課題が多岐にわたっている。

本村の県道では、幹線道路であるにも関わらず、歩道が十分に整備されていないところが多く、歩道の段差の解消や、新設、拡幅等にも積極的に取り組んで欲しい。

また、今回の回答内容に対して、国交省側からのフィードバックを中間報告等の形式で公表して欲しい。

今後の道路行政についての意見・提案
②-1 地域の現状と抱える課題

様式 ②
富山県舟橋村

○現状 本村では、村道の整備は新設から維持管理へとシフトしている。	○課題 住空間や交通安全への配慮を主眼とした道路整備を進めていく必要がある。主に歩道、自転車道等の整備。
---	--

本村では、若年層のが急増しており、主に通学路等の整備・維持管理が必要となっており、歩道・信号機・横断歩道・スクールゾーン等の整備の必要性が高まっている。

また、今後増加するであろう、高齢人口にも対応できるよう、歩道等のバリアフリー化を進めなければならない。村の中心へ向かう県道の整備も今後引き続き要望していきたい。

また、本村は、国道 8 号線、北陸自動車道立山IC、富山市中心部へ向かう幹線道路に通じる交通の要所であり、交通量も年々飛躍的増加している。こういったことから今後、道路の維持管理に関する体制をより一層充実させていただきたい。

今後の道路行政についての意見・提案

③道路施策の重点事項(代表事例、期待する効果や評価等)

様式 ④

富山県舟橋村

○重点事項	○代表事例	○期待する効果や評価等	○その他
・少子・高齢社会 に対応した子育て 環境、バリア フリー社会の形 成	児童数の急増に伴う通学路の整備や、迫 っている高齢化社会に対応するバリアフリ ー化	安全・安心なまちづくりの形成	